

平成26年のゆめづくり協働事業は、市内15の地域づくり組織で実施されました。自分の住む地域では、どんな課題があり、どんな取組みをしているか。各地域のゆめづくり協働事業の一部をご紹介します。

国津地区地域づくり委員会

防災備品の使い方実習と防災訓練

国津地域は、地震や大雨で土砂災害の危険があり、地域全体が孤立する恐れがあります。地域で防災講演会を開催した際、国津地域の想定被害や具体的な対策を聞き、住民の防災意識の機運が高まりました。そこで、地域が一丸となり暮らしの安全確保を図っていくため、



地域にある9地区に防災備品を購入しました。防災倉庫や発電機などは、各区で対応できるような管理にしました。また、防災備品の使い方を学ぶ本格的な防災訓練を実施し、多くの人に参加していただきました。

高齢化も進んでいます。人口が少ない地域でいかに災害から身を守るか。これからも考えていきます。



国津地区地域づくり委員会
会長 百地 好美 さん

ひなち地域ゆめづくり委員会

高齢者の健康づくり グラウンドゴルフ場整備



地域ビジョンでは、老若男女の居場所や健康づくりなどの環境づくりを進めています。

比奈知地区には広場がないことが課題でした。そこで高齢者の健康づくりのため、グラウンドゴルフができるようなスポーツ広場を整備しました。地元の

地権者の協力のおかげもあり、皆さんが気軽に集まれる広い場所を確保することができました。

今では、60代から90代までの99人で「ひなち夢スポ」という会を結成。多くの人が健康づくりを目的に、週3回2時間程度、グラウンドゴルフを楽しんでいます。この場所は住民同士の親睦と生きがいつくりの場所になっています。

ひなちビジョンリーダー
藤口 好明 さん



一般社団法人 青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会

介護予防施設「ゆこゆこ」の整備

住民の皆さんが、「健康寿命を伸ばし、元気で生きがいある生活をしてほしい」そんな思いから、地域にある集会所(旧汚水処理管理事務所)を改修し、地域福祉の拠点となる高齢者の介護予防施設「ゆこゆこ」の整備をしています。

この場所で、高齢者世帯を対象に食生活や生活習慣の改善、介護予防の運動、認知症予防教室などを実施していきます。



すずらん台町づくり協議会

遊休地を地域住民のための公園に

遊休地となっていた中学校用地を地域の公園にしようと住民で整備を進めています。

公園は、市民センターや地域福祉の拠点「きずな」に隣接しています。通用橋の設置により、利用しやすくなりました。公園では、いろいろなイベントを開催。多くの人で賑わうようになりました。



桔梗が丘自治連合協議会

住む人、訪れた人が分かる住居表示

住宅が開発され50年が経ちます。しかし、番町や番地の表示がなく、訪れた人がここがどこなのか場所が分かりづらいなど、不便に感じていました。

暮らしやすいまちにするため、桔梗が丘地域全域に街区表示板を中部電力などに許可を取り電柱に設置。街角には町内表示、各戸に住居番号(地番)表示板も配布します。



地縁法人 錦生自治協議会

木の子の里 錦生ブランドの創出

地域資源を生かした錦生ブランドを創出しようと「ハタケシメジ」の栽培と出荷を行っています。旧錦生小学校の給食棟で栽培し、とれたて名張交流館などで販売中です。今後は、ハタケシメジの加工品として、ドレッシング製品などを研究しながら、コミュニティビジネスとして販路拡大を目指します。



公益活動中のけがや事故を補償 市民活動補償制度

市民の皆さんが安心してボランティア活動や地域活動を行えるよう、活動中のけがや事故を市が補償する制度があります。

この制度は、全ての費用を補償するものではなく、一定の補償金(見舞金)を支払うものです。補償内容には限度がありますので、必要に応じて各団体に別途保険に加入してください。

◎市民活動補償の対象となる活動は、下記4つの条件を全て満たすことが必要です。

- ①公益的な活動であること
※自分の技術を高める活動、親睦目的のレクリエーション活動などは対象となりません。
- ②活動が継続的、計画的に行われていること
- ③無報酬で行っていること(交通費などの実費支給、交通費相当の謝礼などは可)
- ④日本国内の活動であること

事故が起こった場合は直ちに連絡してください。活動が補償対象になるかなど詳しくは、問い合わせ先へ

☎ 地域経営室 ☎ 63-7484

地域の安心・安全を守る 消防団員募集



名張市消防団では、現在約500人の消防団員が、自分の仕事を持ちながらも地域の防災力の中心として昼夜を問わず、安心・安全のために活動しています。

- 入団資格** 市内在住の18歳以上の人
※職種、男女問わず。年齢に上限なし。
- 入団後の主な待遇**
- ・年間報酬、災害や訓練に出動した場合の手当支給
 - ・消防団活動中に負傷した場合の補償制度
 - ・必要に応じて勤務先へ「出勤証明」を発行
- ◎詳しくは、問い合わせ先へ

☎ 消防本部 消防救急室 ☎ 63-5990

出会いの場を求めて 婚活イベント開催のお知らせ

日時 2月8日(日)午後1時30分～、14日(土)午後5時～、15日(日)午後1時30分～、22日(日)午後3時～ テーマや参加年齢別で4回開催

場所 ちよいまるカフェ(中町)
参加費 男性5,000円、女性2,000円

◎この事業の一部は、市の委託事業です。申込方法やイベント内容について詳しくは、ホームページまたは電話で問い合わせ先へ

☎ ちよいまるカフェ ☎ 48-7730

🌐 <http://www.cyoimaru.com/>



平成26年度 ゆめづくり協働事業

名張地区まちづくり推進協議会

ママカフェや託児支援

子育て中の親が情報交換できる拠点として「ママカフェ」を整備。育児の悩みを話したり、子ども用品の交換会などができる場です。また、子育て中の人々が地域活動に参加できる機会を増やすために、活動中に子どもを預けられる託児支援も行います。



中央ゆめづくり協議会

魅力的な地域のシンボル公園を

地域内の中心にあるパークアベニュー、鴻之台3号公園、せせらぎ水路を一体化し、地域のシンボル公園として魅力あるものにしていきます。

花壇を整備し、カブトムシなどの昆虫を飼育しています。また音楽イベントも開催します。



川西・梅が丘地域づくり委員会

みんなが集うコミュニティプラザ

梅が丘に新たな集会所としてのコミュニティプラザを4月にオープンする予定です。愛称は、「ナウラ」。フィンランド語で「笑う」という意味です。この場所で、高齢者サロンや子育てサロン、コミュニティカフェなど実施していきます。



薦原地域づくり委員会

きずなでつむぐ 安心・安全の里

名張川下流に位置する地域のため、巨大地震や水害などの災害が発生すると、地域は孤立し分断されます。予想される災害に備えて、防災備品を整備しました。各区に自主防災隊を配備し、定期的な防災訓練を実施したり、役割分担などを確認したりしています。



地縁法人美旗まちづくり協議会

湧き水「竜王水」の有効活用

市内唯一の湧き水「竜王水」を平成20年から整備しています。

この貴重な湧き水をもっと有効活用するため、災害時に使える水として整備します。また、観光資源として美旗地域を散策してくれる人の憩いの場としていきます。



つじが丘・春日丘自治協議会

コミュニケーションが生まれる公園

公園で地域を活性化させようと、住民から要望が多かった意見を参考に、中央グラウンドにはサッカーゴール、各公園には健康遊具を設置しました。また、ふん公害対策を積極的に進めてくれた愛犬家のために、公園の一部を犬専用広場(ドッグラン)に整備しました。



赤目まちづくり委員会

赤目散策道しるべ事業

近鉄赤目駅前広場に旅のステーションを開所し、赤目四十八滝の観光案内や地域の情報発信をしています。赤目地域には、さまざまな名所史跡もあるため、現地には隠れた名所を紹介する案内板も設置し、活動しています。



箕曲地域づくり委員会

酒米収穫イベント

地元製品の消費拡大、地場産業の伝統の酒づくりを支援するため、地酒の醸造に提供する酒米づくりに取り組んでいます。

酒米作りサポーターの協力のもと、地域の皆さんで収穫しました。

